

# 漁獲シナリオ等の検討について

---

資源管理方針に関する検討会(第4回)  
～マサバ対馬暖流系群及びゴマサバ対馬暖流系群～

令和7年1月30日(木)

水産庁

# 資源管理目標の案

● 資源評価に基づき研究機関から提案されている資源管理目標の案を採用する。

マサバ

ゴマサバ

項目	新しい案	現行	新しい案	現行
目標管理基準値 =MSYを達成するために維持・回復させるべき目標となる親魚量	33.0万トン	31.0万トン	9.2万トン	10.9万トン
限界管理基準値 =過去最低親魚量	11.7万トン	14.3万トン	3.1万トン	5.1万トン
禁漁水準 =MSYの10%の漁獲量が得られる親魚量	1.3万トン	2.2万トン	0.4万トン	0.8万トン

# 漁獲シナリオの案：マサバ対馬暖流系群

- 親魚量が10年後(2035年)に目標管理基準値を50パーセント以上の確率で上回る漁獲シナリオのうち、**将来の漁獲量が最大**となる  $\beta = 0.95$  を選択。
- 親魚量の値が限界管理基準値を下回っている場合には、漁獲圧力は、当該親魚量の値から禁漁水準値を減じた値を限界管理基準値から禁漁水準値を減じた値で除すことにより算出した係数を、 $\beta = 0.95$  に乗じた値とする。
- 親魚量の値が禁漁水準値を下回っている場合には、漁獲圧力は0とする。

表1. 将来の平均親魚量 (万トン)

$\beta$	2035年に親魚量が目標管理基準値案 (33.0万トン) を上回る確率												
	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
1.00			32.6	32.8	32.9	33.0	33.1	33.0	33.0	33.0	32.9	32.9	46%
0.95			33.4	34.2	34.6	34.8	35.0	35.0	34.9	35.0	34.9	34.9	61%
0.90	30.6	31.9	34.3	35.7	36.4	36.7	37.0	37.0	37.0	37.0	36.9	36.9	75%
0.80			36.1	38.8	40.2	40.9	41.2	41.3	41.2	41.3	41.2	41.2	94%
現状の漁獲圧			32.5	32.7	32.8	32.9	32.9	32.9	32.8	32.9	32.8	32.8	45%

表2. 将来の平均漁獲量 (万トン) ※暦年ベース

$\beta$	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
1.00		26.2	26.5	26.6	26.7	26.7	26.7	26.7	26.7	26.7	26.6	26.7
0.95		25.2	25.9	26.3	26.5	26.6	26.6	26.6	26.6	26.6	26.6	26.6
0.90	25.7	24.2	25.3	25.9	26.2	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4
0.80		22.0	23.9	24.9	25.4	25.6	25.7	25.7	25.7	25.7	25.7	25.7
現状の漁獲圧		26.3	26.5	26.7	26.7	26.7	26.7	26.7	26.7	26.7	26.6	26.7

# 漁獲シナリオの案：ゴマサバ対馬暖流系群

- 親魚量が10年後(2035年)に目標管理基準値を50パーセント以上の確率で上回る漁獲シナリオのうち、**将来の漁獲量が最大**となる  $\beta = 0.95$  を選択。
- 親魚量の値が限界管理基準値を下回っている場合には、漁獲圧力は、当該親魚量の値から禁漁水準値を減じた値を限界管理基準値から禁漁水準値を減じた値で除すことにより算出した係数を、 $\beta = 0.95$  に乗じた値とする。
- 親魚量の値が禁漁水準値を下回っている場合には、漁獲圧力は0とする。

表1. 将来の平均親魚量 (万トン)

$\beta$	2035年に親魚量が目標管理基準値案 (9.2万トン) を上回る確率												
	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
1.0			6.8	7.6	8.2	8.6	8.8	9.0	9.1	9.1	9.2	9.2	45%
0.95			7.0	7.9	8.6	9.1	9.4	9.6	9.7	9.7	9.8	9.8	59%
0.9	6.6	6.1	7.2	8.3	9.1	9.6	10.0	10.2	10.3	10.4	10.4	10.4	72%
0.8			7.5	9.0	10.1	10.8	11.3	11.5	11.6	11.7	11.7	11.7	91%
0.7			7.9	9.7	11.2	12.1	12.6	12.9	13.0	13.0	13.0	13.0	98%
現状の漁獲圧			5.5	5.1	4.8	4.6	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	4.1	0%

表2. 将来の平均漁獲量 (万トン) ※暦年ベース

$\beta$	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
1.0		4.7	5.1	5.5	5.7	5.9	6.0	6.1	6.1	6.1	6.1	6.2
0.95		4.5	5.0	5.4	5.7	5.9	6.0	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1
0.9	6.7	4.3	4.9	5.3	5.6	5.9	6.0	6.0	6.1	6.1	6.1	6.1
0.8		3.9	4.6	5.1	5.5	5.7	5.8	5.8	5.9	5.9	5.9	5.9
0.7		3.5	4.2	4.8	5.2	5.4	5.5	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
現状の漁獲圧		6.3	5.9	5.6	5.3	5.2	5.1	4.9	4.9	4.8	4.7	4.7

# TACの案：マサバ対馬暖流系群及びゴマサバ対馬暖流系群

- ABCのうち日本EEZ分を算出し、その合計値をTACとする。
- 令和7管理年度のTAC案は22.55万トン。

	ABC	日本EEZ分	TAC
マサバ	25.7万トン(※)	70%	17.99万トン
ゴマサバ	4.8万トン(※)	95%	4.56万トン
合計			22.55万トン

※ 漁期年ベースの数値

# 今後のスケジュールについて

R6年 7月24日	<b>第3回SH会合</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 現行の資源管理方針及び資源の状況等について説明</li><li>• 今後SH会合で検討すべき事項について説明・議論</li></ul>
R6年12月頃	資源評価結果公表
	本日の検討会はこちら
R7年 1月	<b>第4回SH会合</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 令和6年度資源評価結果について説明</li><li>• 第3回SH会合の資源管理目標、漁獲シナリオ等の議論</li></ul>
3月	<b>第5回SH会合</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 資源管理目標、漁獲シナリオ等の議論の続き</li><li>• 議論の取りまとめ</li></ul>
4月	<b>パブリックコメント開始</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• SH会合の取りまとめを反映した、資源管理方針の変更(案)</li></ul>
5月	<b>水産政策審議会資源管理分科会</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 資源管理方針の変更(案)に対する意見聴取</li><li>• 令和7(2025)管理年度のTAC(案)に対する意見聴取</li></ul>
6月	資源管理方針の変更及び令和7管理年度のTACの決定
7月	変更後の資源管理方針等に基づくTAC管理開始